

施 策

36

観光魅力創造・まごころ観光の推進

施策の目的

高知ならではの魅力の磨き上げや、ホスピタリティあふれる受入態勢の充実、本市を拠点とした周遊観光の定着等により、国内外からの観光客の増加を図るとともに、観光客の満足度の向上と消費拡大をめざします。

◆成果指標

成果指標名	指標の説明	直近値	中間目標値 (令和7年度)	最終目標値 (令和12年度)
年間観光入込客数 (海外からの観光客を含む)	年間の県外観光客の高知市への入込数(1月から12月まで)	329万人 (令和元年度)	348万人	353万人
市内の延べ宿泊者数	年間の高知市での延べ宿泊者数(1月から12月まで)	119万人泊 (令和元年度)	125万人泊	130万人泊
県外観光客消費額	年間の県外観光客の高知市での消費額(1月から12月まで)	822億円 (令和元年度)	997億円	1,072億円
外国人延べ宿泊者数	年間の外国人の高知市での延べ宿泊者数(1月から12月まで)	6.9万人泊 (令和元年度)	24.5万人泊	29.0万人泊
観光客の高知市観光の満足度	高知市観光満足度調査による高知市滞在の総合満足度(1月から12月まで)	78.3% (平成30年度)	80.0%	82.0%

現状・課題

◆地域資源の魅力創出

「よさこい祭り」や「坂本龍馬」など、既存観光資源の磨き上げを行うとともに、新たな観光資源の発掘や、県内の全市町村で形成した「れんけいこうち広域都市圏[※]」における広域的な魅力の創出など、地域資源を活用したさまざまな取組が求められています。

本市には、自然や歴史、文化など数多くの観光資源が存在しており、これらの資源をハード・ソフト両面において引き続き磨き上げを行うとともに、高知の強みを生かした食や夜の観光など、新たな観光資源の発掘が求められています。

また、県内の全市町村で形成した「れんけいこうち広域都市圏」における広域的な魅力の創出など、高知市を周遊拠点とした新たな周遊観光の創出が求められています。

夏の風物詩である「よさこい祭り」は、毎年全国から多くの踊り子や観光客が訪れる高知市を代表する祭りとなっていますが、競演場・演舞場での人材や運営費の不足といった課題が生じており、継続的運営に向けた取組が求められています。また、これまで2020東京オリンピック・パラリンピックと連動して様々な取組を行ってきており、国内外に向けたさらなるPRの充実、強化が求められています。

桂浜公園については、施設の老朽化や、多様化する観光客のニーズに対応するため、さらなる魅力向上に向けての取組が求められています。

◆インバウンド観光の推進

高知県を訪れる訪日外国人旅行者は、2019(令和元)年まで年々増加しておりましたが、2020(令和2)年の新型コロナウイルス感染症の感染拡大は、インバウンド*観光にも多大な影響を与えました。今後は、社会情勢の変化に応じた柔軟な対応が求められています。

外国人観光客の誘致にあたっては、外国人のニーズに合わせた効果的なプロモーション活動や、れんけいこうち広域都市圏で取り組む事業の活用による県内市町村や四国四市での連携も含めた、より効果の高い誘致活動の継続が求められています。

また、増加している外国客船の寄港時には、シャトルバス運行や臨時観光案内所の増設、おもてなしイベントを実施してきましたが、今後は乗船客の滞在時間の延長や消費拡大に向けた取組が求められています。

◆効果的な情報発信

観光客誘致にはニーズを把握した観光プロモーションが重要であり、ニーズ把握のための調査や旅行エージェントへの情報提供の強化、国外への情報発信など、効果的なプロモーション活動が求められています。

また、観光情報を得るためにインターネットやSNS*(ソーシャル・ネットワーキング・サービス)などを利用する傾向が高まっていることに加え、外国人観光客も増加していることから、多言語に対応した情報提供が求められています。

◆受入態勢の充実

外国人観光客も含め、県外からの観光客が安心して快適に本市での滞在を楽しむために、観光案内や交通アクセス、滞在環境などの利便性・快適性を高める取組が求められています。

また、観光関連業界のみならず、観光地における地元住民のおもてなし意識の向上が、これまで以上に求められています。

重点的な取組

◆地域資源の魅力創出

~~「よさこい祭り」については、運営体制の強化により持続可能な運営をめざすとともに、全国200か所以上で開催されているよさこい祭りとの連携を強化し、効果的なPRを実施します。~~

坂本龍馬をはじめとする「歴史」資源や観光施設は、さまざまな切り口での事業展開、他都市との連携を行いながら、今後も魅力づくりに取り組みます。

高知の観光資源の一つである「食」については、「食」を巡る周遊観光の創出に取り組むとともに、日曜市を活用した食の体験など、食の魅力を基軸とした観光振興に取り組みます。

また、周遊拠点・高知市としての機能・役割強化をめざし、宿泊を含む自然体験コースの造成、夜の観光資源の創出に向けた取組を進めるとともに、れんけいこうち広域都市圏における観光客動態調査を活用した周遊ルートの造成により、圏域の経済活性化をめざします。

~~よさこい祭りの運営体制については、競演場・演舞場運営への大学生の参加など、競演場・演舞場の活性化について関係者と協議を行います。また、国内外に向けたよさこいのPRを強化していくとともに、海外チームの誘致・受入や海外チームが参加しやすい環境の整備等、祭りの継続と充実に向けた方策に取り組んでいきます。~~

桂浜公園は、桂浜公園整備基本構想及び基本計画、整備手法等調査を基に、既存施設の活用を含む整備手法の検討を行い、自然景観と歴史資源を活かした、学びや憩い、楽しみがある公園としての再整備に取り組みます。

スポーツにおいては、高知県観光コンベンション協会と連携しながら、引き続き国内外のプロ野球や社会人・大学等のキャンプ・合宿等の誘致を行うとともに、練習場所の調整等スムーズな受入ができるように取り組みます。

◆インバウンド観光の推進

外国人に人気の「自然体験」や「食」など、高知ならではの魅力を、アジアを中心に増加傾向にある個人旅行者や外国客船の寄港等も活かしながら効果的に発信するとともに、れんげいこうち広域都市圏や四国の県庁所在市などと連携して外国人観光客の誘致に取り組みます。

外国人観光客の受入環境の整備については、外国人観光客の動向やニーズに対応したWi-Fiや多言語の案内板・パンフレットの整備等に、県や中心商店街、旅行業者等と協力・連携し取り組みます。

周遊拠点として、大型客船寄港時のシャトルバス運行や中心部の観光案内所における他市町村と連携した情報発信、外国語観光案内システム「tosatrip」の利用促進を図り、滞在時間の延長や消費効果の拡大に取り組みます。

◆効果的な情報発信

観光プロモーションについては、観光客動態調査や観光案内所運営によるニーズ等の分析により、県内の観光資源を効果的に結び付けた広域観光PRを実施します。また、歴史や食、よさこいなど本市の強みを活かしながら、関係団体やイベントなどを活用・連携し、首都圏や東アジア等への観光PRに取り組みます。

情報発信においては、パンフレットなどのリアルプロモーションに加え、多言語ホームページやSNSなどのICT^{*}を活用し、ターゲットに応じた情報発信と結果分析による効果的なPRを行います。また、発信力のある人や会社を活用した参加型キャンペーンの実施により、国内外への発信力を強化します。

◆受入態勢の充実

国内外の観光客に対する観光案内機能については、ハード・ソフト両面において、観光客のニーズやユニバーサルデザイン^{*}を意識し、関係機関等と連携して受入態勢の充実に取り組みます。

観光地間の移動手段については、周遊観光バスの運行継続やおもてなしタクシー等の情報発信に取り組みます。

インバウンド観光向け研修については、時勢に応じたさまざまなテーマの研修を企画・開催していきます。

観光客の満足度向上を図るため、観光関係者はもちろんのこと、次代を担う子どもたちに、ふるさとへの愛着とおもてなしの心を醸成する取組を行うなど、市民全体でのホスピタリティの育成・向上を推進します。